

DDJ Open2012 大会ルール

2012年5月 改正

【全クラス共通ルール】

1. 出場できる犬の年齢は 生後 10 カ月以上 とする。(ラン♪らん♪クラスを除く)
2. 競技では配布ディスク、もしくは下記に該当するディスクを使用すること。

	配布ディスクと 大きさ(235)・重さ (100g)が同じ HERO 製	100・120・160・ 185・215 サイズの HERO 製 (SDX・ HDX を除く)	HERO 製 HDX	布製ディスク等	ボール・ ぬいぐるみ等
オープン	○	○*	×	×	×
ミドル ビギナー 小型犬 シニア犬 キッズ	○	○*	×	○*	×
ラン♪らん♪	○	○	○	○	○
ロングディスタンス	○	×	×	×	×
フリースタイル	○	○*	○*	×	×

*：事前に使用可能かジャッジに確認を要する

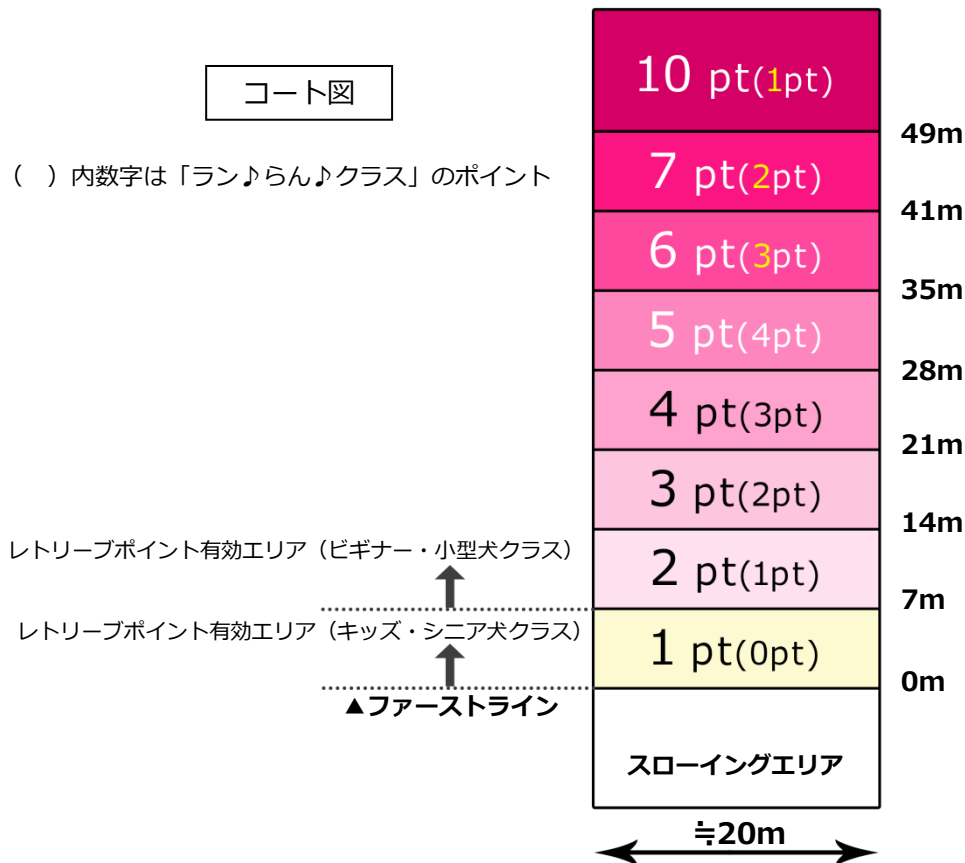
3. 競技者を妨害する行為は失格となる場合がある。
4. 犬を繋留する場合はコートの外側 1 m以内に犬が入らない様にする。(競技犬の視界に入らないよう配慮すること)
5. 競技中出場犬以外の犬が侵入した場合、選手の申し出やジャッジの判断で競技をやり直す事ができる。
6. 出場選手は一般ギャラリーに競技を見せる事に協力する。
7. 愛犬、他人の犬を問わず虐待があった場合、その競技を終了または失格とする。
8. 予防注射を済ませていない犬をエントリーすることはできない。
9. その他、本書の規定にないルールについてはジャッジの判断に委ね、出場選手はこれを受け入れる。

【ディスタンス競技】

制限時間内に出場犬がディスクを何回どの場所でキャッチできるかを競うものです。一投ごとに得点制で採点し、合計得点の多いペアが上位となります。競技者がディスクを投げた地点と、出場犬がキャッチした地点との距離が長いほうが高い得点となります。(ただしラン♪らん♪クラスはこの限りではない)

コート図

※ () 内数字は「ラン♪らん♪クラス」のポイント



1. 大会種目、競技時間及び種目別規定は下記のとおりとする。

① オープンクラス

- ・ 予選競技 1分×2ラウンド、上位5ペアが決勝進出。
- ・ 決勝競技 1分×1ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 出場選手が女性または小学生以下、ならびに出場犬が小型犬の場合は得点ごとに0.5点加算のハンディキャップが与えられる。(ハンディキャップの条件が重なっても加算は0.5点とする)
- ・ 競技中、選手以外はスローイングエリアに入ることができない。
- ・ 1～3位のペアは2012年度の最終大会(12月に予定)に行われる『DDJグランドチャンピオンクラス』に出場する権利を獲得できる。
 - DDJグランドチャンピオンクラスの有資格ペアで重複が出た場合は、該当ペアの2012年度における入賞が2回目以降となる大会において4位以下のペアが繰り上がって出場資格を得る事とする。
- ・ 1位のペアは2012年11月開催予定の『マザーカップグランドチャンピオンクラス』に出場する権利を獲得できる。
 - マザーカップグランドチャンピオンクラスの有資格ペアで重複が出た場合は、該当ペアの2012年度における優勝が2回目以降となる大会において2位のペアが繰り上がって出場資格を得る事とする。2位のペアも重複する場合は原則該当ペア無しとなる。

② 小型犬クラス

- ・ 予選競技 1分×2ラウンド、上位3ペアが決勝進出。
- ・ 決勝競技 1分×1ラウンド。
- ・ 出場者の年齢性別は問わないが、犬種は小型犬に限る。
- ・ 7m以上の有効スローに、犬がディスクをキャッチしなくてもディスクをスローイングエリアまで持ち帰れば1ポイントが加算される、レトリブポイントを適用する。
- ・ 競技中、選手以外はスローイングエリアに入ることができない。

- ・ 1位と2位のペアは2012年度の最終大会（12月に予定）に行われる『DDJ 小型犬グランドチャンピオンクラス』に出場する権利を獲得できる。
 - DDJ 小型犬グランドチャンピオンクラスの有資格ペアで重複が出た場合は、該当ペアの2012年度における入賞が2回目以降となる大会において3位以下のペアが繰り上がって出場資格を得る事とする。

③ ミドルクラス（中級者向け）

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 過去のDDJOpen またはマザーカップのオープン、レディース、ミドルクラスおよび他団体の左記と同等のクラスにおいて優勝したことが無いペアならびに **DDJOpen** の*1 ミドルクラスで3位以上入賞を2回したことが無いペアが対象となる。
- ・ 競技中、選手以外はスローイングエリアに入ることができない。

④ ビギナークラス（初心者向け）

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 過去のDDJOpen またはマザーカップのオープン、レディース、ミドル、ビギナー、旧チャレンジの各クラスや他のディスクドッグ大会において3位以上入賞をしたことが無いペアが対象となる。
- ・ 7m以上の有効スローに、犬がディスクをキャッチしなくてもディスクをスローイングエリアまで持ち帰れば1ポイントが加算される、レトリブポイントを適用する。
- ・ 競技中、家族等が補助としてスローイングエリア内に入ることができる。但し補助人が犬やディスクに触れてはいけない。
- ・ ロングリードの使用を認める。

⑤ キッズ（子供）クラス

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種は問わないが、出場者が小学生以下であること。
- ・ 全ての有効スローに犬がディスクをキャッチしなくてもディスクをスローイングエリアまで持ち帰れば1ポイントが加算される、レトリブポイントを適用する。
- ・ 競技中、家族等が補助としてスローイングエリア内に入ることができる。但し補助人が犬やディスクに触れてはいけない。
- ・ ロングリードの使用を認める。

⑥ シニア犬クラス

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 出場者の年齢性別は問わないが、犬の年齢が8才以上であること。
- ・ 全ての有効スローに犬がディスクをキャッチしなくてもディスクをスローイングエリアまで持ち帰れば1ポイントが加算される、レトリブポイントを適用する。
- ・ 競技中、家族等が補助としてスローイングエリア内に入ることができる。補助人が犬やディスクに触れてもよい。
- ・ ロングリードの使用を認める。

⑦ ランらんらんクラス

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 投げるものはディスク以外のもの（ボール・おもちゃ等）でも構わないが、1ラウンドの中で使用できるのは一つだけとし、競技の途中で変えることはできない。

- ・ 犬または出場者がファーストラインまでディスクやボール等を持ちかえれば、「犬がボール等を啜えた」もしくは「出場者がボール等を拾った」場所の得点が与えられる。ただし出場者と犬の両方がファーストラインまで戻ってから得点が発生する。
- ・ ディスクをキャッチした場合の得点は0（ゼロ）となる。
- ・ コート外でボール等を啜えたり拾ったりした場合の得点は0（ゼロ）となる。
- ・ 競技中、家族等が補助としてスローイングエリア内に入ることができる。出場者や補助人が犬やボール等に触れてもよい。
- ・ ロングリードの使用を認める。

⑧ ロングディスタンスクラス

- ・ 競技は1分30秒で、スローは3回までとする。
 - ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
 - ・ 選手が女性または小学生以下の場合には7mのハンディキャップが与えられる。
 - ・ 各スロー、ディスクが手から離れる前に犬がファーストラインを越えた場合はドッグファールとなり、そのスローは無効となる。
 - ・ 競技中、選手以外はスローイングエリアに入ることができない。
2. 競技中のディスク交換は可能とし、交換用ディスクはあらかじめジャッジに渡しておく。この場合直前に投げたディスクと交換を行う事を条件とする。
 3. スタート合図の前に投げられたディスクは無効とする。
 4. スタート合図と同時に投げられたスローは有効とする。
 5. 終了合図と同時に投げられたスローは無効とする。
 6. スタート合図の前に犬がスローイングエリアを出た場合のキャッチは無効とする。犬をファーストエリアに戻してから得点が発生する。この場合時間は止まらない。
 7. ファーストラインを踏んでのスローイングは無効とする。
 8. 各ポイントは上記コート表に明記してある通りとする。1回のスローでの最高得点は10点となる。（ラン♪らん♪クラスでは4点）
 9. フィールド外キャッチは全て無効とする。犬の前肢または後肢がフィールド外に出ていた場合のキャッチも無効とする。
 10. 着地した犬の両手足のうち、スローイングエリアに一番近い着地点を採点基準とする。
 11. ディスクが地面に着地した後に犬がキャッチしても0点となる。また、ディスクのスローイング後犬がキャッチする前に障害物や人に当たった場合も0点となる。
 12. ジャンプキャッチ、フィールドキャッチともに同一得点とする。
 13. 犬の脱走により競技が進行できない場合（ジャッジの判断で20秒経過）はその競技は終了とする。それまで獲得した得点は有効となる。

【フリースタイル競技】

1. 競技時間は2分以内で1ラウンド制とする。
2. 使用できるディスク枚数は最大7枚とする。
3. 選手は開会式時に使用する音楽のメディア（CD・MDなど）を大会本部に提出すること。
4. 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
5. 定員を大きく超えた場合には、同一選手が違う犬でフリースタイル競技に複数エントリーすることを制限する場合がある。
6. 採点基準と注意点は下記の通り。
 - ・ DDJのフリースタイルとはショーとして観客を楽しませることを前提とし、犬の素晴らしさ、可能性を伝えることを目指しています。従ってDDJのフリースタイル競技では前述を重視した採点となります。またそれぞれの個性と犬と飼い主のコンビネーションの良さも採点に含まれます。技術的に上手な方が必ずしも上位になるとは限りませんのであらかじめご了承ください

い。

- ディスクを「とにかくたくさん投げる」必要はありません（ディスクの競技ですからある程度投げないと点も上がりませんが、投数による得点のアップはありません）。投げない時間をどのように見せるか…などの工夫も評価されます。
- 使用できるディスクは7枚までですが「7枚使わなければいけない」わけではありません。また競技時間は2分ですが、例えば1分40秒で演技を終了しても構いません。むしろ愛犬が疲れきるまで演技したり、エスケープするまで行うのはマイナスになります。ただし2分以上（タイマーの終了合図以降）の演技は採点いたしません。終了合図以降にドッグキャッチなどの締めめの演技をしても、残念ながら審査対象の演技とはならず流れ終了とみなしますのでご注意ください。
- 演技は始まりや終わりがはっきり分かるように。特に締めくくりはわかりやすくし、観客が拍手をするタイミングを作る事が大切です。
- 採点基準をよく理解した上でエントリーをお願いします。また始めたばかりや不得意であっても数回エントリーするうちに上達が認められる場合には、それに応じて採点いたします。
- タイマーは音楽の始まりよりも若干遅めにカウントをスタートしますが、音楽の開始と同時に演技を始めて頂いて構いません。（タイマーの終了合図いっぱいまで演技した場合、実質の演技時間は2分強となります）
- 採点は DDJ ジャッジが行います。誤記・計算ミス以外の採点内容についての異議は一切受けません。

7. 採点方法は下記の7項目で計40点満点とする。

R(5点満点) 演技・技の組み立てや順番を評価します。俗に言う起承転結というものです。

M(5点満点) フィールドをどのように使っているか。音楽の選択なども含めマネージメントを評価します。

P(5点満点) 完成度として技、人の動き、犬の動きを評価します。

O(5点満点) このペアのオリジナル度、技のオリジナル度を採点します。

D(5点満点) 難易度を採点します。

C(5点満点) 挑戦ポイントとしてうまくいけばそれなりに、うまくいなくてもポイントがつくこともあります。

S(10点満点) ショーマンシップです。一番ここを重点的に見ます。ショーとしての採点です。

8. 1位のペアは2012年12月に開催予定の『DDJ フリースタイルグランドチャンピオンクラス』に出場する権利を獲得できる。また前述のペアは2012年度の次回以降の大会でフリースタイル競技への参加はできないものとする。

【表彰について】

各クラスの表彰については下記表の通り。上位入賞ペアにはトロフィー等が授与される。

	上位入賞ペア
オープン・ミドル・小型犬・ビギナー・キッズ・ラン♪らん♪	1~3位
シニア	1・2位
ロングディスタンス	1位
フリースタイル	1位

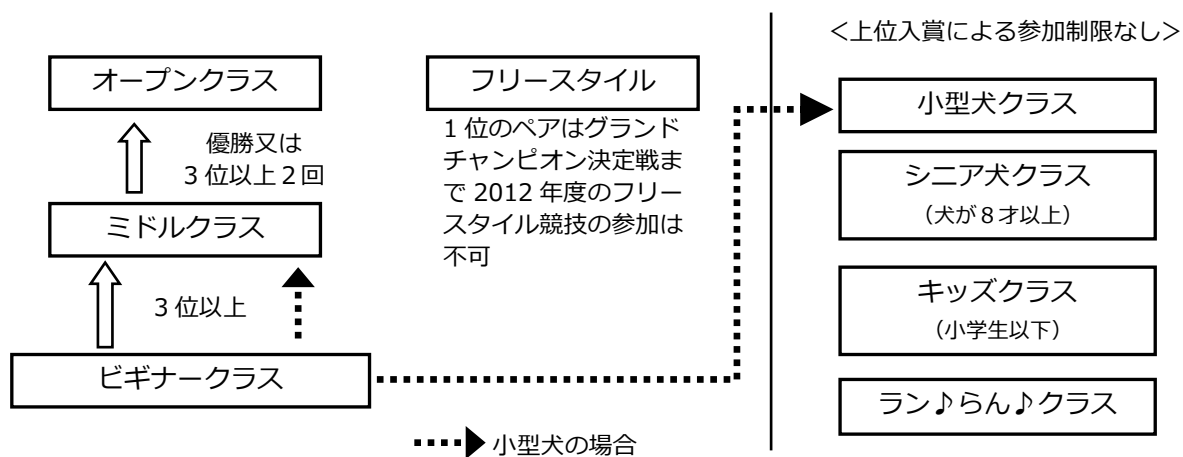
※参加数により変更となる可能性があります。

【同点の場合】

1. 各クラス、1位のみ同点決勝戦を行います。同点決勝戦を行っても点差がつかない場合は、申込の早い方を上位といたします。
2. 2位以下の同点は申込の早い方を上位とします。

【上位入賞ペアの次回参加クラスについて】

1. ビギナークラスで1～3位のペアは、次回以降ミドルクラス以上のクラスへ出場する。
2. ミドルクラスで優勝および上位入賞（2・3位）を2回したペアはオープンクラスへ出場する。
3. オープンクラスの1位のペアは次回以降もオープンクラスに出場する。
4. 小型犬、シニア犬、キッズ、ラン♪らん♪クラスについては上記規定の対象外とする。



【大会マナー】

1. 待機中に使用するタープや敷物、椅子、テーブル、犬用のケージなどは各自ご用意下さい。
2. 愛犬の飲み水はご自分でご用意ください。
3. ゴミやフンは必ずお持ち帰りください。
4. 競技以外の時間は、必ず犬にリードをお付けください。
5. 会場内のお客様に迷惑を掛けないよう心がけてください。

<備考>

*1・・・2012年5月追記